



五小だより

国立市立国立第五小学校
学校だより

No. 6

平成27年9月1日

「輝く未来へ」

校長 大山 紀子



8月4日(火)～6日(木)、国立市が主催する青少年国内交流事業により、市内小学生が広島に派遣されました。本校からも6年生2名が派遣生に応募して選ばれ、事前学習会を経て、総勢16名での派遣となりました。

市内小学生は各校で折鶴を折り、派遣生に平和への願いを託しました。

8月2日、私は故郷である新潟県長岡市の花火を見に、帰省してきました。今でこそ、かなり全国的にも有名になり、多くの観光客が訪れるイベントになっていますが、もともとは昭和20年8月1日(第二次世界大戦の終戦わずか2週間前です)夜10時30分から1時間40分にわたったB29大型爆撃機の攻撃により旧市街地の8割が焼け野原になり、1400人を超える方が亡くなった長岡大空襲の1年後に始まった、復興祭が起源となっています。街の復興を誓い、戦争で亡くなった方々への慰霊を行う、そんな意味をもつ花火大会なのです。私も母から、焼夷弾で辺りが昼のように明るい中、夢中で信濃川の土手まで走って逃げたこと(そこが今、花火会場になっています)、下駄が片方脱げたこと、土手の途中で蹲っている大人に、「草をかけて隠してくれ」と声をかけられ、驚き呆れたけれど、一掴み草をむしってかけてあげたこと・・・などの話を何度となく聞きました。その都度私にとって、はるか昔の出来事のような戦争が、実はそれほど過去のことでないのだ、と思ったものでした。

50周年記念誌のタイトルが決まりました。4年生以上の子供たちがクラスで話し合い、それを代表委員会で集約して決定したのが、冒頭の「輝く未来へ」です。

この50年、日本は高度成長時代、バブル経済、その崩壊、など、いろいろな出来事を経て今日に至りました。不幸な出来事もありましたが、でも、戦争を経験しなかったという意味では、平和な時代であったと言えるのではないのでしょうか。しかし、その前の50年間で、日本は第一次世界大戦、そして第二次世界大戦という二つの大きな戦争に参戦していることを考えると、決してこの平和は、当たり前には与えられるものではないという思いを強くします。くにこの子供たちの未来がずっと輝くものであるために、私たち大人は子供たちに、正しい知識と思考力・判断力、そして行動力を身に付けさせるよう育てていかなければならないと思います。学校で、家庭で、地域で、それぞれのもつ「教育力」を結集して子供たちの未来をずっとずっと輝かせることができるよう、ご協力を切にお願いいたします。

さて、冒頭にお話しした広島派遣ですが、3日間の行程は以下のようなものでした。

1日目	原爆ドーム・原爆の子の像・広島原爆死没者追悼平和祈念館・厳島神社見学
2日目	平和祈念資料館見学・広島青少年平和の集い参加
3日目	平和祈念式典参加・青少年平和・文化イベント参加

8月30日には報告会がありました。実は私は7月19日の壮行会に参加しこの行程を知った時に、小学生には少々重すぎる内容ではないかと心配したのですが(広島にも長崎にも行ったことがあります、原爆に関連する施設や資料館ではその圧倒的な事実の前に呆然とした記憶があります)、どの子供たちも「平和への誓いを新たにす」という、事業の目的をしっかりと達成した凛々しい姿で成果報告をしていました。国立の子供たちの頼もしさをとても嬉しく思うとともに、改めてこの子供たちの未来に対する教育の責任の重さを痛感しながら、会場を後にしました。



平和を祈念して折鶴を供えました

野外体験教室

5年担任 本田 慈

8月17日(月)～19日(水)、八ヶ岳へ野外体験教室に行ってきました。あいにくの雨天での出発となりましたが、1日目の酪農体験では命や食に向き合いました。雨天のためキャンプファイヤーができなかったのは残念ですが、体育館で大いに盛り上がりました！2日目は収穫体験と飯盛山の登山。夜は国立ではなかなか見られないような星空を観察しました。3日目は、川俣川で溪流釣り体験をしました。

2日目以降はお天気にも恵まれ、全体を通して、ほぼ予定通り実施することができました。5年生59名全員が同じ行程を体験できたことが何よりです。酪農体験では、大きな牛の体をおそろおそろ触ってみたり、自分たちの手でバターを作っておいしく食べたりしました。溪流釣り体験では、はじめは魚を触れないと言っていた子も、自分で釣った魚の口の針を外したり、魚をさばいたりしていました。

この3日間は自然や食・命と触れ合う機会がとても多く、まさに野外体験“教室”となりました。子供たちも新しいことに挑戦する気持ちが高まり、仲間たちとの絆も深まりました。心も体も一回り大きく成長した5年生、今後の活躍にも期待しています。

※子供たちの様子は、ホームページでもご覧いただけます。

児童の様子

2年担任 松田 晴海

新学期を迎え、日焼けした元気な2年生が教室に戻ってきました。1学期は、運動会で優しく1年生の手を引きながら一生懸命に演技したり、野菜の生長する様子に「花が咲いたあとに小さな実ができたよ。」と興味をもって観察したり、1年生の頃よりぐんと成長したと感ずることがたくさんありました。2学期は、1学期に引き続き、小さな発見やまちの人たちとの関わりを楽しみに、まちたんけんに出かけます。また、手作りおもちゃづくり、多摩動物公園への遠足、音楽会の準備と盛りだくさんです。今学期も、友達のよいところを見つけ、自信をもって自分らしさを発揮してほしいと思います。

特別支援教育

特別支援教育コーディネーター 圓谷 智子

お子さんの得意なこと、大好きなことは何でしょうか？野球やサッカーなどのスポーツが得意だったり本を読むことが好きだったり、また、電車やバス、動物が大好きなどお子さんそれぞれに得意なことや好きなことには瞳をキラキラさせて驚くほど集中する姿が見られることでしょうか。得意なことでは、子供たちにとって大きな自信となります。自信をもつことは自分を大切に思う気持ち「自尊感情」を育てることにもつながっていきます。

特別支援教育は、お子さんの得意なことや大好きなことを認めてたくさんほめていくことで自尊感情を伸ばし、自信をもって苦手なことや難しいことにもチャレンジしていくことができるようにするという視点で指導や支援の在り方を考えています。

苦手なことやできないことにばかり目を向けてしまうとどうしても叱ったり厳しい言葉をかけてしまったりすることが多くなってしまいます。五小の校歌にもあるように、どの子も育つ力、伸びる力をもっています。子供自身が伸びよう育とうとする力を信じて、学校とご家庭、地域の皆様と連携をして「ほめる」ことに取り組み、子供たちを支えていきたいと思えます。これからも特別支援教育への皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学習発表会について

担当 南條 典子

これまで全校一斉に行っていた学習発表会を、今年度からは、異学年の児童が参観できるように、3回に分けて開催することになりました。日程は以下の通りです。

* 9月26日…3年・5年

* 1月23日…2年・4年・6年

* 2月20日…1年・つくし

発表内容・場所などの詳細は、学年便りにてお知らせいたします。多数のご参観をお待ちしております。

【9月行事予定】

生活目標 規則正しい生活をしよう

- 1日(火) 始業式
- 2日(水) 全校朝会 給食始 身体測定(5, 6年)
- 3日(木) 身体測定(3年, つくし)
- 4日(金) 身体測定(2年)
5年生木曜日6時間授業始
- 7日(月) 委員会 身体測定(1, 4年)
7日(月)～10月2日(金) 教育実習
- 8日(火) 保護者会(1, 2, 3年)
- 9日(水) 全校朝会 合同学習(つくし)
職業体験(二中生徒来校)
- 10日(木) 歯科講話(2, 4, 6年)
保護者会(4, 5, 6年, つくし)
- 11日(金) 水泳指導終
- 12日(土) 人権メッセージ発表会(芸小ホール)

- 14日(月) クラブ なわとび週間始
オリンピック教育推進プロジェクト
(体操 新竹優子選手来校)
- 15日(火) プラネタリウム見学(4年)
- 16日(水) 児童集会 PUT
研究授業(2年)
※1, 3～6年, つくしは4時間授業
- 18日(金) なわとび週間終
- 25日(金) 遠足(2年)
- 26日(土) 学校公開 避難訓練
- 28日(月) クラブ
- 30日(水) 音楽朝会 PUT
研究授業(6年)
※1～5年, つくしは4時間授業

PUT…
パワーアップタイム

